

西部丘陵東地区 進出協定締結式

電力供給に適した立地環境を高く評価
地場産天然ガスを活用し、(株)長岡火力発電所が進出決定

西部丘陵東地区（長岡市深沢町ほか地内）に、今までの誘致活動が実り、発電事業を行う(株)長岡火力発電所が進出することが決定し、本日、長岡市と進出協定を締結します。西部丘陵東地区（産業ゾーン）への進出企業は、昨年2月のヨネックス(株)に続き2社目となります。

新設の発電施設は、越路地域に位置する国内最大級のガス田「南長岡ガス田」から産出される天然ガスを100%活用したガス火力発電所で、発電した電力は、特定規模電気事業者（新電力）大手の(株)F-Powerが全量買取り、本市をはじめ全国の需要家へ供給します。

1 進出企業概要

- (1) 企業名 株式会社長岡火力発電所（発電事業者）
- (2) 本社所在地 東京都品川区東五反田（土地売買契約締結後、本社を長岡市へ移転予定）
- (3) 代表者 代表取締役 井上 博文
- (4) 進出理由 西部丘陵東地区が、天然ガスパイプラインや特別高圧送電線に近接するなど、電力供給拠点に適した立地環境であることから進出を決定
- (5) その他 同社は、電力インフラに特化した投資ファンドを運営する(株)IDI インフラストラクチャーズ（大和証券系企業）が、本市での発電事業を目的に、平成27年10月設立

2 発電所概要

- (1) 立地場所 長岡市深沢町ほか地内（西部丘陵東地区産業ゾーン）約1.7ha
- (2) 発電規模 出力85,800kW（最大年間約20万世帯分の発電規模）
※ガスエンジン発電機11基（川崎重工業(株)が設置）
- (3) 雇用予定 約10名（予定）
- (4) その他
 - ・(株)長岡火力発電所で発電した電力は、(株)F-Power（販売電力量は新電力業界第2位）が全量買い取り売電
 - ・使用するガスは、年間約8,000万 m^3 （長岡地域の都市ガス販売量の約8割に相当）を想定し、北陸ガス(株)が全量供給する。

3 協定締結日

平成28年4月19日（火曜日）

4 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 平成28年4月 | 発電所建設予定地 造成工事着工（市施工・平成29年3月完了予定） |
| 平成29年3月 | 土地売買契約締結 |
| 4月 | 発電所建設工事着工 |
| 平成30年7月 | 発電事業開始 |

裏面へ続く

5 進出による効果や期待

- 周辺立地企業に対する電力や熱といった、エネルギーの効率的な供給の可能性が広がるなど、産業団地としての付加価値が向上するため、今後の企業誘致の促進が期待できます。
- 同地区の優位性を活かしたエネルギー関連企業のさらなる誘致を進めるとともに、地産地消型エネルギー政策など、様々な事業展開に取り組むことができます。
- エネルギーの地産地消については、地元のガス発電による電力を市内に供給する電力小売事業の実施など実現に向けた手法等について検討します。
- 発電施設は、視察・見学会などに受け入れ可能なため、特に子どもたちの環境・エネルギー教育につながります。

問い合わせ：長岡市商工部産業立地課 電話：39-2298
(株)長岡火力発電所 (株)IDI インフラストラクチャーズ
電話：03-5447-6288

ガス火力発電所 誘致に至った長岡市の取り組み

- 長岡市地域新エネルギービジョン（平成18年2月策定）において、地域の資源を最大限に活用した、地球環境への影響が少なく、将来的に安定した新エネルギーの導入を目指すこととし、特にエネルギー効率がよく・環境負荷の少ない、クリーンなエネルギーの天然ガスの活用を進めることとしました。
- 同年3月に長岡市天然ガス活用基本プランを策定。新たな産業立地に向け、本市の都市ガス料金が全国の主要都市でもトップクラスの安価な水準であること、国内最大級の産出量を誇る「南長岡ガス田」の活用が重要であると計画に位置付けました。特に、ガス田に近接した地域においては、高圧ガスパイプラインが整備されており、低価格で大量の天然ガスの安定供給が可能であることから、発電事業の新規立地が見込めるとの方向性が示されました。
- このため、長岡市西部丘陵東地区土地利用ビジョン（平成19年3月策定）に基づき、天然ガスのクリーンなイメージや供給パイプラインに近接する立地特性など、環境共生型の産業拠点形成をコンセプトに付加価値のある企業立地を進めることとし、これに必要な用地（187ha）を長岡市が先行的に取得しました。そのうち、一部（約50ha）を産業ゾーンとして整備しております。
- 平成24年度に実施した、西部丘陵東地区エネルギー事業FS調査の結果、同地区における発電所立地の優位性と実現性が確認できたことから、地場産天然ガスを活用した発電所の本格的な誘致を民間事業者と協力して進めてきました。
- 同地区の有益性や将来性、エネルギー供給の安定性などについて、市内外の事業者へ積極的に情報提供し丁寧な折衝を行った結果、これまでの市の取り組み全体が評価され、このたびの誘致が実現したものです。

西部丘陵東地区〈産業ゾーン〉の概要

同地区では、良好な交通アクセス環境、学術機関との近接性、緑豊かな周辺環境、豊富な資源エネルギーといった地域特性を活かした「環境共生型産業拠点」の形成を目指し、企業誘致を進めています。

- 現在の状況 ●第1期エリア（約19ha）
平成28年度末造成完了予定 ※約14haは、ヨネックス㈱の進出用地
- 第2期エリア（約10ha）
平成28年度に造成着工予定

